

仕様

商品名	屋根名人(標準仕様)	
容量	主剤 12.5kg	硬化剤 2.5kg
混合比	主剤:硬化剤=5:1	
希釈率	刷毛ローラー 0~20% エアレス 10~30% ※希釈剤には塗料シンナーAをご使用ください。	
塗布量	0.24~0.32kg/m ² 2回塗装	
塗装間隔	3時間以上 ※1日に塗装できる回数は2回までです。3回目以降は翌日以降に行ってください。	
ポットライフ	5時間以内	
商品名	屋根名人(遮熱仕様)	
容量	主剤 12kg	硬化剤 2kg
混合比	主剤:硬化剤=6:1	
希釈率	刷毛ローラー 0~20% エアレス 10~30% ※希釈剤には塗料シンナーAをご使用ください。	
塗布量	0.24~0.32kg/m ² 2回塗装	
塗装間隔	3時間以上 ※1日に塗装できる回数は2回までです。3回目以降は翌日以降に行ってください。	
ポットライフ	5時間以内	
商品名	屋根名人プラス ※屋根名人施工後のトップコートとしてご使用ください。	
容量	主剤 12kg	硬化剤 2kg
混合比	主剤:硬化剤=6:1	
希釈率	刷毛・ローラー 0~20% エアレス 10~30% ※希釈剤には塗料シンナーAをご使用ください。	
塗布量	0.11~0.16kg/m ² 1回塗装	
塗装間隔	3時間以上 ※1日に塗装できる回数は2回までです。3回目以降は翌日以降に行ってください。	
ポットライフ	5時間以内	
商品名	屋根名人ベースファンド ※悪素地の場合に屋根名人の下塗りとしてご使用ください。	
容量	主剤 12kg	硬化剤 1.2kg
混合比	主剤:硬化剤=10:1	
希釈率	刷毛・ローラー 0% エアレス 0~5% ※希釈剤には塗料シンナーAをご使用ください。	
塗布量	0.2~0.3kg/m ² 1回塗装	45~65m ² /缶
塗装間隔	24時間以上(20℃露点気下) ※気温が低い場合は乾燥が遅くなります。	
ポットライフ	5時間以内	

〈使用上の注意〉

- ①被塗物に適した下地処理を行ってください。(塗装仕様書参照)
- ②他の塗料と相溶性がありませんので絶対に混合しないでください。
- ③使用前に十分に攪拌し、内容を均一にしてから使用してください。
- ④硬化剤混合後、5時間以内に使用してください。
- ⑤塗料の特性上、厳しい気象条件下では可使用時間が極端に短くなる場合があります。特に高温多湿の下で使用される場合は、硬化剤との混合後出来る限り速やかに使用してください。
- ⑥希釈は必ず塗料用シンナーAをご使用ください。
- ⑦朝夕の結露時期、被塗物が異常に高温の時、降雪雨の予想される時は、塗装を避けてください。
- ⑧塗装ミスの飛散により、周辺を汚しトラブルとなることがあります。塗装ミスが飛散しないように十分な養生を行ってください。
- ⑨極端な厚塗りや塗装間隔が3時間以内の場合、リフティングを起こす可能性が有りますのでご注意ください。
- ⑩専用下地材・屋根名人プラスの塗装も含め1日3回以上の塗装をしないでください。リフティングを起こす可能性があります。
- ⑪開封後の塗料は湿気と反応しゲル化しますので残った塗料はなるべく早く使用してください。
- ⑫長期保存した場合、未開封であってもゲル化する傾向にあります。
- ⑬塗料で瓦の割れの補修、防止はできませんのでご注意ください。
- ⑭屋根名人プラスは透明です。塗り残しにご注意願います。

〈安全衛生上の注意〉

- ①取り扱い、火気の無いところで行ってください。
- ②塗装中、乾燥中共に換気を良くし、蒸気を吸い込まないようにしてください。
- ③必要に応じて有機ガス用防毒マスク、送気マスクをご使用ください。
- ④取り扱い中はできるだけ直接触れないようにし、必要に応じて保護メガネ、長袖の作業着、保護手袋などを着用してください。
- ⑤作業中気分が悪くなったときは、清浄な空気のある場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ⑥詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。
- ⑦容器は中身を使い切ってから、地方・国の規則に従って廃棄してください。
- ⑧誤って飲み込んだ場合は直ちに医師の診断を受けてください。
- ⑨容器からこぼれた場合は、砂などを散布した後、地方・国の規則に従って廃棄してください。



日本塗装名人社

〒463-0098 愛知県名古屋守山区川北町315 TEL.052-768-4152



日本塗装名人社

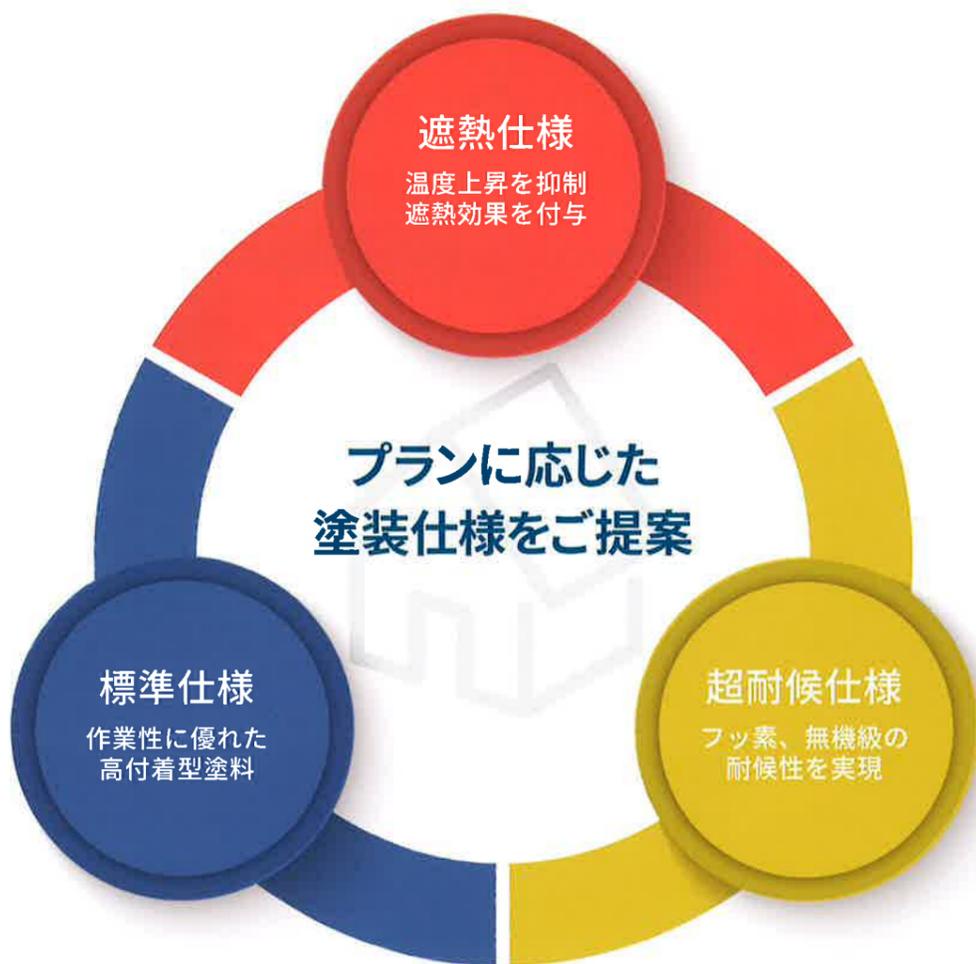
究極の屋根塗装のために
専用塗料で安心保護

屋根名人



究極の屋根塗装のために、専用塗料で安心保護

屋根は家の中でも最も重要な部分の一つです。適切な保護がなければ、時間とともに劣化し、修理や交換が必要となる場合があります。そこで、私たちは屋根を長持ちさせるために、特別に開発した専用塗料をご用意いたしました。屋根を長持ちさせ美観を保つための理想的な塗料としてご提案いたします。



シリーズ共通の特長

- ▶ **優れた作業性(シーラーレス仕様)**
※基材の状態により下塗りを工程に入れる提案をする場合もあります。
- ▶ **ラジカル制御型塗料**
- ▶ **幅広い下地適正**

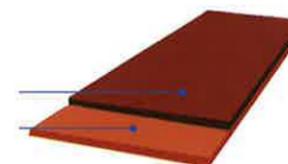
基本塗装仕様

シリーズ共通の仕様

標準仕様 (2工程)

コストパフォーマンスに優れた仕様です。

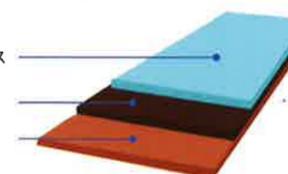
- 屋根名人2回目
- 屋根名人1回目



高耐候仕様 (3工程)

クリアーでコーティングすることで長期耐候性が期待できます。

- 屋根名人プラス
- 屋根名人2回目
- 屋根名人1回目

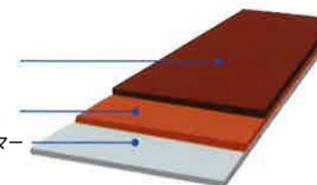


遮熱限定の仕様

高反射仕様 (3工程)

高反射プライマーの効果で日射反射率が向上します。

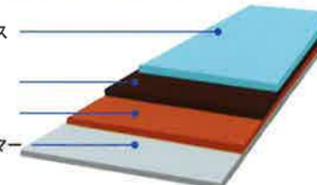
- 屋根名人2回目
- 屋根名人1回目
- 高反射プライマー



高反射・高耐候仕様 (4工程)

日射反射率を高め遮熱効果を長期間維持できる最高級仕様です。

- 屋根名人プラス
- 屋根名人2回目
- 屋根名人1回目
- 高反射プライマー



※基材の状態によっては塗装回数が増加する場合があります。
金属部で錆の発生が見られる場合は別途錆止め塗料が必要になります。

セメント瓦、乾式コンクリート瓦などで傷みが激しい場合は屋根名人ベースファンドと併用することで基材表面の凸凹を軽減し仕上がりを向上させることができます。基本塗装仕様の下地にご使用ください。



塗装前



塗装後

優れた作業性

作業を効率的かつ快適に

シーラーが不要なため手間を減らし品質を向上させることができます。

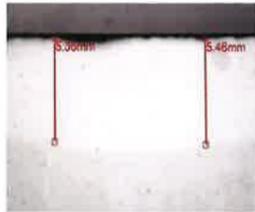
※基材の状態により下塗りを工程に入れる提案をする場合があります。
金属面に錆の発生がある、素地の傷みが激しく表面の凸凹が大きい
場合などは状態に応じた下地材が必要になります。

シーラーが不要な3つの理由

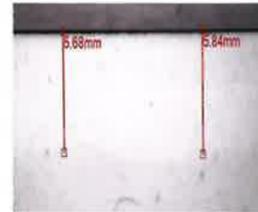
一般的な塗料と異なる特殊な樹脂設計を施したことで、優れた浸透性と付着性が得られました。
この効果により基材へ深く浸透した塗料が、強力に付着することで剥がれにくい塗膜を形成します。
さらに、乾燥後の塗膜は高い柔軟性があるため、割れにくく、長期間屋根を保護することができます。
これらの性能のおかげで、シーラーレスでの施工においても強い信頼感が得られます。

01 優れた浸透性

基材に浸透しやすい樹脂。
一般的なシーラーと同等の浸透性能を有します。



屋根名人の仕様



一般的なシーラーの仕様

02 高付着力

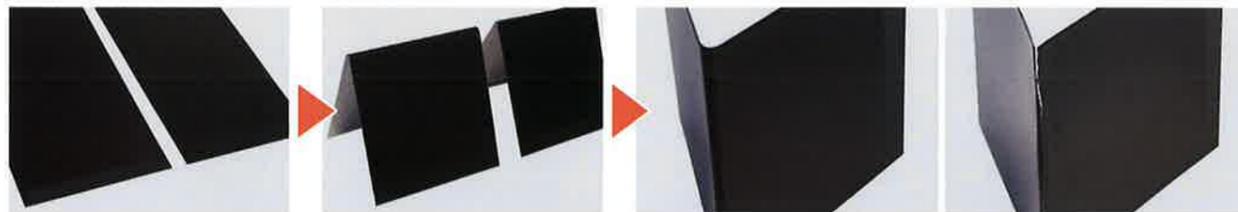
密着試験ではスレート、ガルバリウム鋼板だけでなく、ガラスのような一般的には塗料の付着が困難とされている素材においても剥がれません。この強力な付着性能の効果で多種の屋根材への塗装が可能となります。



●スレート ●ガルバリウム鋼板 ●ガラス

03 柔軟性

屋根材も季節によって膨張・収縮を繰り返します。
金属素材にもしっかり追従します。



・無塗装のガルバリウム鋼板へ屋根名人と一般塗料を塗装し乾燥。

・塗装面を山側にして折り曲げる。

屋根名人
・柔軟性があるので塗膜面に亀裂が無い

一般塗料
・塗膜面に亀裂が発生

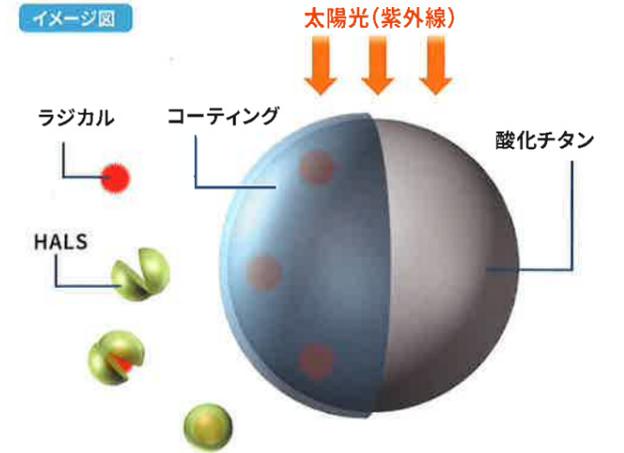
ラジカル制御

特殊酸化チタン顔料+HALS(光安定剤)のW効果で塗膜を保護

塗膜は太陽光の影響でラジカルと呼ばれる自身の劣化を促進する物質を発生させることが知られています。特に白色顔料で使用される酸化チタン系顔料はラジカルの発生を助長し、塗膜を損傷させやすい傾向にあります。
その対策として、特殊コーティングを施した酸化チタン顔料を使用することでラジカルの発生を抑制しました。
さらに、ラジカル抑制効果の高いHALS(光安定剤)を塗料に含有させたことで、より高い効果が期待できます。

ラジカル制御型のしくみ

イメージ図



対応屋根材

どんな屋根も美しく保護、素材を選ばない万能塗料

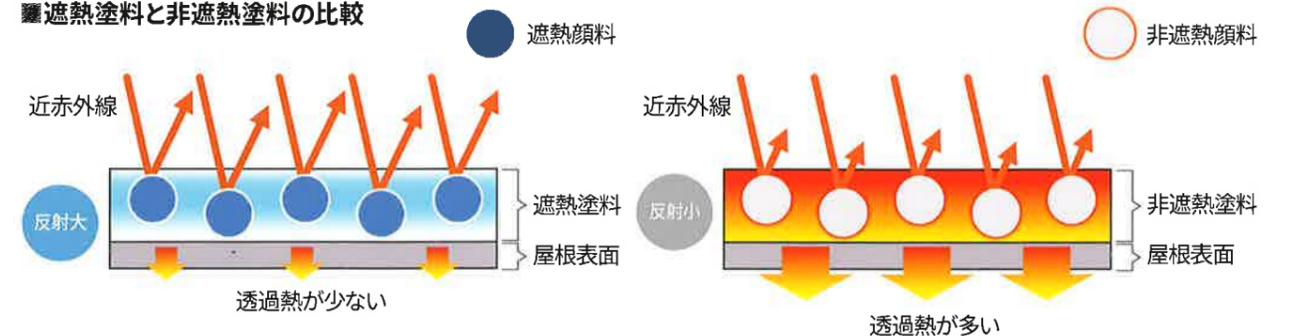
陶器系	化粧スレート	乾式コンクリート瓦	高分子繊維強化セメント	プレスセメント瓦	金属
-----	--------	-----------	-------------	----------	----

遮熱効果 ※一部の色のみ対応

夏の暑さも快適に、塗装でできる暑さ対策

太陽光に含まれる近赤外線は物体に吸収されると熱へと変化します。
この熱が屋根に吸収されることで温度が上昇する原因となります。
温度上昇の原因となる、近赤外線を効率よく反射する遮熱顔料と特殊シリコン樹脂を組み合わせることで浸透、柔軟、密着性能を保持したまま遮熱性能を付与することができました。

遮熱塗料と非遮熱塗料の比較



屋根の美しさを保つ、透明なバリア

屋根は太陽光、風雨の影響が大きく非常に過酷な環境です。

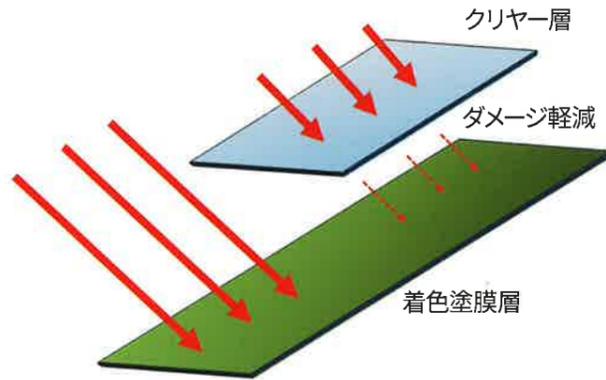
そのような環境下で長期的に屋根表面を保護するには、塗膜にも高い耐久性能が求められます。

しかしながら、従来の塗装仕様では不十分な場合もありました。

着色顔料を含む塗膜は表面劣化が進行することでチョーキングが発生し変色が起こります。

クリアーコートで表面を覆うことで着色塗膜層は紫外線や風雨からの直接的な影響を受けなくなりチョーキングの発生を防止します。

屋根名人プラスは長期的な美観を保持するための有効な手段となります。

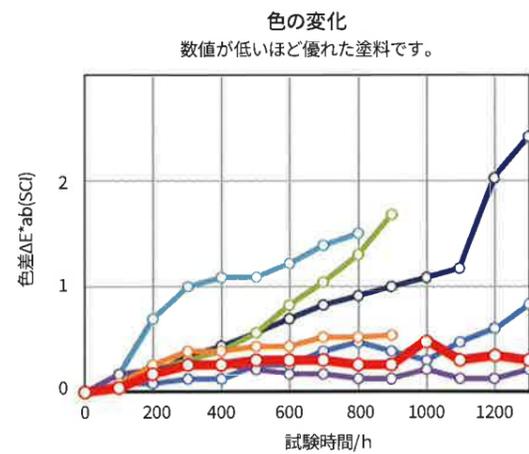
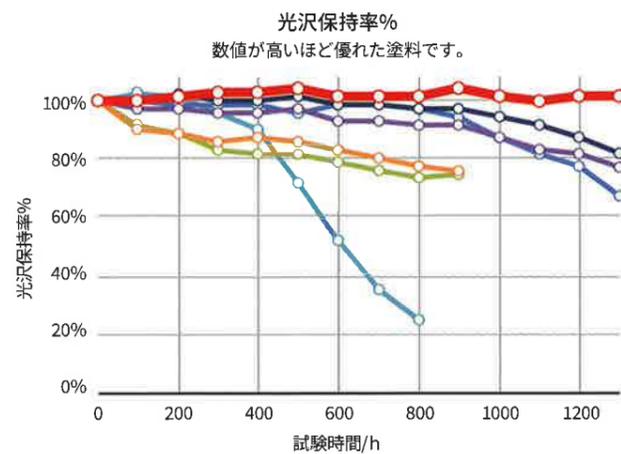


防藻・防カビ性能

藻・カビなどの菌を雨水などで流れやすくし、定着を軽減する効果が期待できます。

フッ素、無機クラスの高耐候性能

促進耐候性試験結果(メタルハライドランプ方式)



試験条件

使用機材: アイスーパーUVテスター SUV-W151

設定条件: 照度100W/cm²、照射時の温度63°C、湿度50% 1サイクル4時間+結露1時間

※上記結果は促進耐候性試験の結果です。参考値としてご検討ください。

実際の環境での塗膜劣化傾向とは異なる結果となる可能性があります。

- 弱溶剤アクリルシリコン系
- 弱溶剤フッ素系A
- 弱溶剤フッ素系B
- 水性無機有機ハイブリッド系
- 弱溶剤無機有機ハイブリッド系
- 屋根名人
- 屋根名人プラス

屋根名人プラス仕様 実績写真

屋根材: 陶器瓦



塗装後



塗装11年後

屋根材: 化粧スレート



塗装後

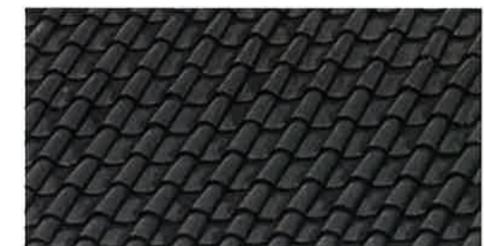


塗装6年後

屋根材: 陶器瓦



塗装後



塗装13年後

※耐用年数について

塗膜の耐用年数は立地など環境に応じて変化します。上記実績写真は耐用年数の目安としてお考えください。

条件によっては想定より短い耐用年数となる可能性もありますのでご注意ください。

屋根名人プラスのラインナップ



高い光沢は明るく、華やかな印象をあたえ新品感を演出します。

光沢を抑えることで自然な仕上がりになり、周囲との調和に優れた落ち着いた質感が得られます。

屋根名人

Color sample

通常色



JP-01



JP-02



JP-03



JP-04



JP-05



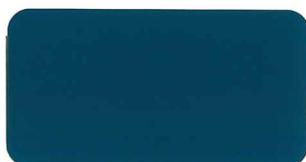
JP-06



★ JP-07



★ JP-08



★ JP-09



★ JP-10



★ JP-11



★ JP-12



JP-13



JP-14



JP-15



JP-16

遮熱色

上段 高反射プライマー無し
下段 高反射プライマー仕様



JP-21

反射率 38.1%
反射率 42.3%



JP-22

反射率 34.6%
反射率 40.0%



JP-23

反射率 35.0%
反射率 39.2%



JP-24

反射率 41.6%
反射率 43.7%



JP-25

反射率 33.3%
反射率 38.2%



JP-26

反射率 32.6%
反射率 38.2%



JP-27

反射率 33.0%
反射率 41.6%



★ JP-28

反射率 47.9%
反射率 52.8%

- ★の色は変色が早めに起こる傾向にあります。
変色防止のため屋根名人プラス仕様(クリアー仕様)での施工を推奨します。
- 色見本の内容については予告なく変更することがあります。
- 色見本帳と実際の仕上がりは多少異なります。
- 日射反射率はJIS K5602塗膜の日射反射率の求め方に準拠し計測しました。



日本塗装名人社

〒463-0098 愛知県名古屋守山区川北町315 TEL.052-768-4152